

第107回世界の人とふれあいタイム



ガーナ共和国の話
ハムザ・モハメド・アワル氏
日時：2023年6月25日(日)
(14:00~16:00)

会場：八王子市学園都市センター第1セミナー室
(フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』)

ゲストのハムザさん、2017年に来日し八王子近郊に家族3名とお住まいです。ガーナ共和国のお話しは、2011年6月にお父さんのムサさん以来です。



<https://nationalflag.magazine7.net/ghana>



【ハムザさんのご家族】



ハムザさんは、現在32歳で趣味はサイクリングと山登りです。参考までに、ガーナ的主要言語は英語ですが、周りの国々はフランス語圏に囲まれています。

民族衣装は KOTOKOLI (コトコリ) が有名で、ターバは頭を冷やすための物です。民族は 100 以上で、言葉も 100 言語以上で水がある所へ移動しています。



【お洒落な民族衣装コトコリ】【ターバを身にまとい】

さて日本での夏は厳しい暑さですが、アフリカ出身者は高い気温に慣れていて、熱中症にはなりません。また気温が 30℃になっても、汗はかかないそうです。

日本では、東京国際交流学院で日本語を学び、現地の国立大学では経済とスペイン語を学びました。卒業後1年間は、ボランティア活動を行い結婚しました。

日本語学校に留学していた時に、難易度の高いオーディション試験があり、この試験にパスした時の旅行写真です。



【オーディション旅行のメンバー】



【忍者体験】

【すし体験】

一流ホテルに泊まり、この時に初めて銭湯に入ったそうです。また忍者体験や、自分で寿司や照り焼きを作った時の場面です。



【ツアー参加者全員での忍者体験】

次にガーナの格言を二つ紹介して頂きました。

Character is like pregnancy, it cannot be hidden.

日本語では、「性格は妊娠のようなもので隠すことはできない」と、

“EVERYONE MUST CHOOSE ONE OF TWO PAINS: THE PAIN OF DISCIPLINE OR THE PAIN OF REGRET.”

JIM ROHN

EST. 2014 VALOURINE

「誰でも、二つ苦勞のうち一つの苦勞を選択しなければならない。努力する苦勞と、後悔する苦勞」です。

アンケート結果でも、「我慢と努力が必要だという主張に感銘を受け、ことわざから民族を学ぶことができた」との回答も、多数寄せられました。

(世界の人とふれあいタイム委員長 生山 龍哉)